

【資料1】

地域医療構想に基づく取組について

令和7年8月21日

御坊保健所

地域医療構想の実現に向けた取組について

平成28年度 ▶ 平成29年度 ▶ 平成30年度 ▶ 令和元年度 ▶ 令和2年度 ▶ 令和3年度 ▶ 令和4年度 ▶ 令和5年度 ▶ 令和6年度

地域医療構想調整会議

医療機関相互の協議により、各医療機能の必要量に向けて病床を再編

構想策定

- 各医療機関における具体的対応方針の速やかな策定に向けた取組
- 長期間非稼働となっている病床の廃止を求める通知

■ 地域医療構想推進アドバイザー設置

■ 『重症心身障害児施設の病床』の取扱い

国との協議を重ね、現状の病床数より控除する特例扱いとなる。

■ アンケートを実施し、対応方針を確認

- ・今後担う予定の役割
- ・2025年における機能別の病床数など

■ 非稼働病床に係るヒアリングの実施

■ 「推進区域」設定
(有田・新宮)

病床機能報告

2015年 病床機能報告	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	未分類	総計
2025年までに増減すべき病床数	▲442	▲2,959	1,907	▲1,258	▲356	▲3,108

約3,000床が過剰と判明

■ 病床機能を明確化する「定量的基準」導入

- 公的医療機関2025プラン策定 [県内9病院]
- 各圏域における公的病院を中心とした再編・ネットワークの方向性について適宜協議を実施

公的病院
公立・私立

■ 地域密着型協力病院【県独自制度の創設】

急性期、高度急性期病院と在宅医療とをつなぐ役割を担う医療機関として指定
(27病院 ※R7.6現在)

〔進捗目標: 策定率が100%に達していない場合は、対応方針の策定率。策定率が100%に達している場合は、実施率。〕

病床再編に係る取組

■ 「定量的基準」見直し

各種補助金等を
組み合わせた取組み

地域医療介護総合確保基金

▶ 病床機能分化・連携推進事業補助金

病床機能の転換や廃止を行う医療機関に対し、施設や設備整備等に要する経費を支援

- ① 回復期病床整備事業
- ② 高度急性期病床整備事業
- ③ 病床廃止等事業

▶ 病床機能再編支援事業給付金

病床減少を伴う病床機能再編等に対し、病床利用率と減少病床数に応じた給付金を支給

- ① 病床減少に伴う財政支援
- ② 病院統合に伴う財政支援

病床数適正化支援事業

R6国経済対策補正予算

患者減少等により経営状況の急変等を受けて、病床数の適正化を進める医療機関を対象とした経費相当分の給付金を支給

【交付額】

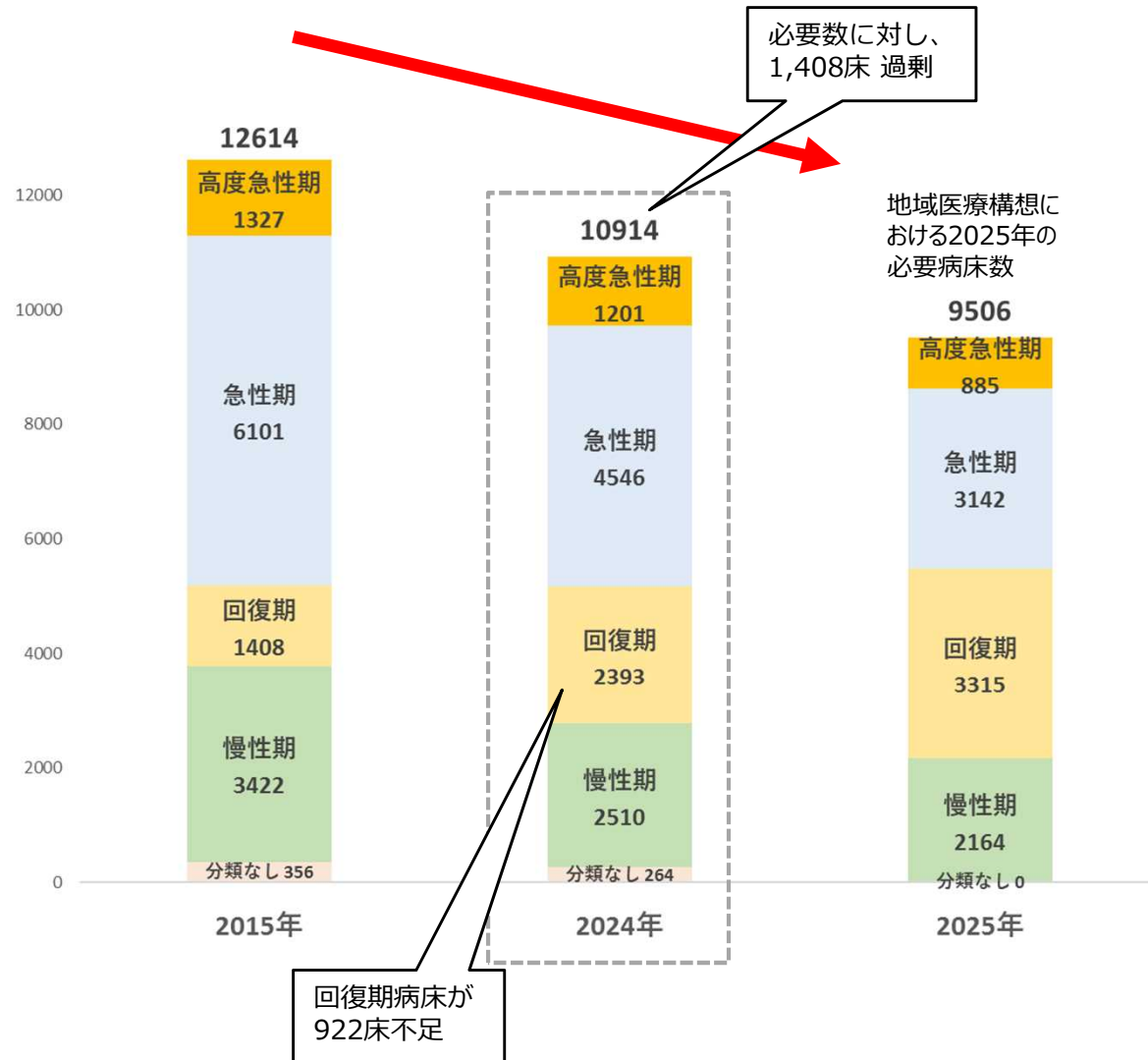
病院（一般病床・療養病床・精神病床）・有床診療所
4,104千円/床

地域医療構想

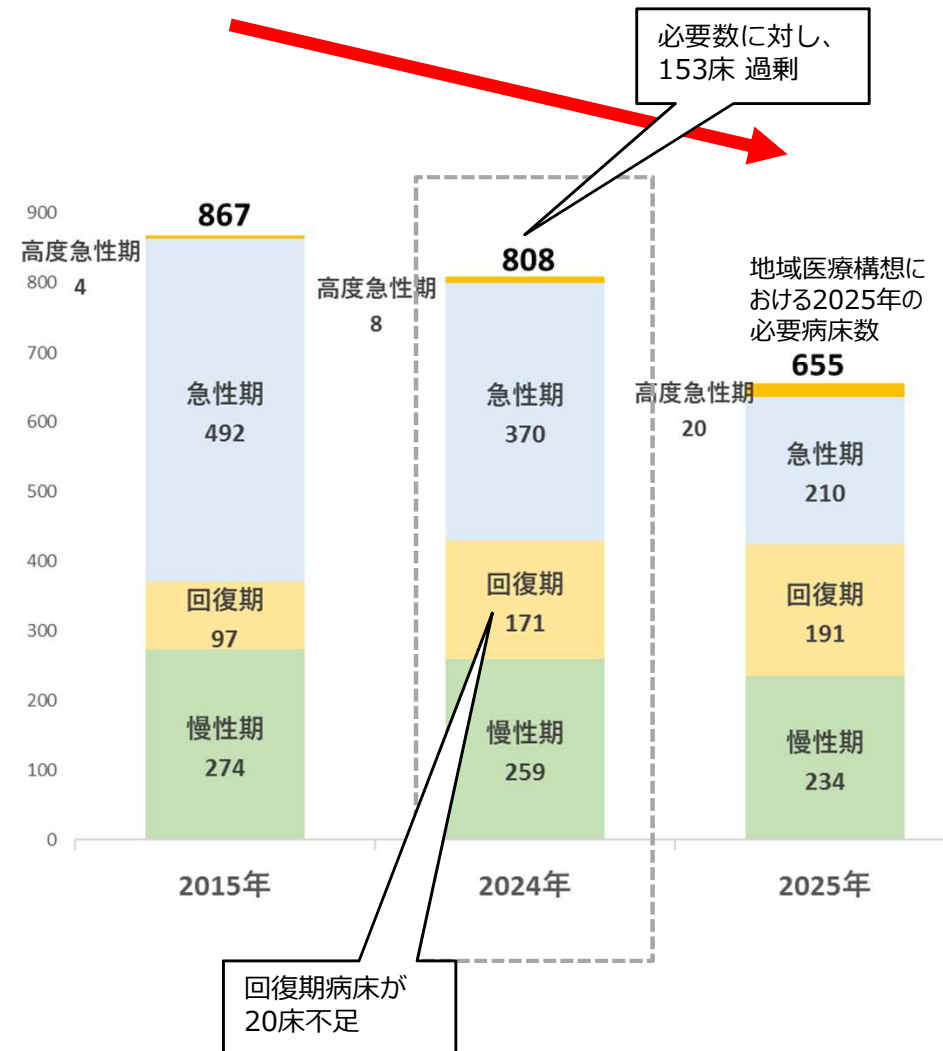
環境整備

地域医療構想における機能別病床数の推移

【和歌山県全体】



【御坊圏域】



「重症心身障害児施設の病床」の取扱いについて

- 地域医療構想において、「重症心身障害児施設の病床」は、「慢性期病床」として算定。

矛盾が存在

- 医療法に基づく「医療計画」においては、下記の特例措置が存在

特定の患者のみが利用する「重症心身障害児施設の病床」や「国立ハンセン病療養所の病床」は、病床数に算定しない。

(1) 上記に対する対応

- 関係医療機関に対する状況調査を実施し、地域の実情を確認。
様々な機会を捉えながら、国と協議を重ねる。
- 『地域医療構想策定』後も、国との協議を継続して実施。

- ・入院患者の多くが、他府県を含む圏域外より多く流入
- ・10年以上長期入院する患者が全体の半数以上を占める
- ・例えば、40年以上長期入院している患者なども珍しくない
- ・新規入院患者、退院患者数はごく少数

(2) 国との協議を重ねた結果、国との合意に至る(平成28年12月)

【取扱方針】

「重症心身障害児施設の病床」について、**現状の病床数より控除する特例扱いとする。**

「2025年の必要病床数」との比較（重症心身障害児施設の病床数を考慮）

		【1】			【2】	【1-2】				【3】	【1-3】	
圏域名	医療機能	2025年度の必要病床数(床)		2024.7.1現在病床数				2014年7月1日現在の病床(床) ※重症心身障害児施設を除く				
和歌山	① 高度急性期	588		1,069	▲ 481			1,069	▲ 481			
	② 急性期	1,674		2,147	▲ 473			2,147	▲ 473			
	③ 回復期	1,836		1,183	653			1,183	653			
	④ 慢性期	863		1,022	▲ 159			965	▲ 102			
	⑤ 分類なし			97	▲ 97			97	▲ 97			
	小 計	4,961		5,518	▲ 557			5,461	▲ 500			
那 賀	① 高度急性期	48			48				48			
	② 急性期	267		360	▲ 93			360	▲ 93			
	③ 回復期	261		296	▲ 35			296	▲ 35			
	④ 慢性期	385		293	92			157	228			
	⑤ 分類なし											
	小 計	961		949	12			813	148			
橋 本	① 高度急性期	65		6	59			6	59			
	② 急性期	267		472	▲ 205			472	▲ 205			
	③ 回復期	327		214	113			214	113			
	④ 慢性期	78		149	▲ 71			149	▲ 71			
	⑤ 分類なし											
	小 計	737		841	▲ 104			841	▲ 104			
有 田	① 高度急性期								0			
	② 急性期	146		202	▲ 56			202	▲ 56			
	③ 回復期	148		188	▲ 40			188	▲ 40			
	④ 慢性期(特例)	201		223	▲ 22			223	▲ 22			
	⑤ 分類なし			45	▲ 45			45	▲ 45			
	小 計	495		658	▲ 163			658	▲ 163			
御 坊	① 高度急性期	20		8	12			8	12			
	② 急性期	210		370	▲ 160			370	▲ 160			
	③ 回復期	191		171	20			171	20			
	④ 慢性期	234		259	▲ 25			96	138			
	⑤ 分類なし											
	小 計	655		808	▲ 153			645	10			
田 辺	① 高度急性期	120		113	7			113	7			
	② 急性期	404		646	▲ 242			646	▲ 242			
	③ 回復期	340		281	59			281	59			
	④ 慢性期	249		243	6			183	66			
	⑤ 分類なし			8	▲ 8			8	▲ 8			
	小 計	1,113		1,291	▲ 178			1,231	▲ 118			
新 宮	① 高度急性期	44		5	39			5	39			
	② 急性期	174		349	▲ 175			349	▲ 175			
	③ 回復期	212		60	152			60	152			
	④ 慢性期	154		321	▲ 167			321	▲ 167			
	⑤ 分類なし			114	▲ 114			114	▲ 114			
	小 計	584		849	▲ 265			849	▲ 265			
県 計	① 高度急性期	885		1,201	▲ 316			1,201	▲ 316			
	② 急性期	3,142		4,546	▲ 1,404			4,546	▲ 1,404			
	③ 回復期	3,315		2,393	922			2,393	922			
	④ 慢性期	2,164		2,510	▲ 346			2,094	70			
	⑤ 分類なし			264	▲ 264			264	▲ 264			
	小 計	9,506		10,914	▲ 1,408			10,498	▲ 992			



「重症心身障害児施設の病床」数を、
4圏域の慢性期病床より控除

(R7.6.1現在)

重症心身障害児施設		医療機関名称	
施設名	病床数	施設名	病床数
和歌山	57	愛徳医療福祉センター	
那賀	136	つくし医療・福祉センター	
橋本	0		
有田	0		
御坊	163	国立病院機構 和歌山病院	
田辺	60	南紀医療福祉センター	
新宮	0		
県計	416	4医療機関	

病床再編等の対象となる病床数は
416床減少し、「約1,000床」に

地域医療構想の今後の進め方

■ 構想区域毎の地域医療構想の推進に係る目標は、2023年度当初に対応方針の策定率が100%に達していない場合は、対応方針の策定率。

既に対応方針の策定率が100%に達している場合は、合意した対応方針の実施率。

(御坊保健医療圏については、すべての医療機関の具体的対応方針合意済)

■ 2025年の課題【御坊保健医療圏】

・非稼働病床が47床 ・急性期病床の過剰(160床) ・回復期病床の不足(20床)

課題を解決するためにこれまでの取り組みを引き続き継続 (強化)

① 非稼働病床については、病床の廃止や他施設への転換について引き続き依頼 (【具体的な対応】ヒアリングを実施)

〈ヒアリング対象〉

非稼働病床数が 10床以上の医療機関

〈ヒアリング内容〉

非稼働の理由、非稼働病床の今後の予定 等

※非稼働病床を廃止する場合など、具体的な方針が決まっている場合は調整会議で合意を得る。

※病床を削減や機能転換する際には、補助金等を使える可能性有。

② 病床機能に係る定量的基準を参考に、病床機能の報告を依頼 (【具体的な対応】定量的基準に基づいた報告を再度依頼)

非稼働病床の状況

医療機関名	許可病床数 ※1	うち非稼働病床
ひだか病院	263	11
整形外科北裏病院	100	4
和歌山病院	245	30
紀伊クリニック	18	2
計		47

令和6年度病床機能報告(確定値)

(非稼働病床とは)

許可病床数※1から最大使用病床数※2を控除した数

※1 一般病床、療養病床(2024年7月1日現在)

※2 2023年4月～2024年3月における「最も多く患者を収容した時点で使用した病床数」